

小石原川・佐田川に係るダム下流の河川環境の改善  
に向けた取り組みについて

1. 小石原川ダムにおいては、平成14年から平成16年にかけて環境影響評価法に基づく環境影響評価（環境アセスメント）を実施しました。

この環境アセスメントでは、寺内ダム下流の佐田川流域における地下水の動きに関しては、専門家の指導・助言を得ながら、関係する地域における既往調査資料など知見の収集に努め、事業者としてできる限りの取り組みを行いました。

2. ダム下流の河川環境を巡っては、最近、佐田川からその支川である黄金川への伏流水の存在がトレーサーを用いた現地試験により確認されたとの報道が行われるなど、環境アセスメント実施以降、新たな情報が得られております。

このような環境アセスメント実施以降の新たな情報に対して、真摯に対応していくことにしております。

3. ダム下流の河川環境に関して一層の環境保全の観点から、学識経験者等から構成される「小石原川・佐田川に係るダム下流河川環境検討会」を設置し、その指導・助言を得ながら、地下水の動きを含めダム下流の河川環境の改善に向けた調査・検討を実施してまいります。

4. 「小石原川・佐田川に係るダム下流河川環境検討会」構成については、次の学識経験者をはじめとする方々を予定しております。

かばた きよたか  
梶田 聖孝  
こが けんいち  
古賀 憲一  
しまだ じゅん  
嶋田 純

東海大学農学部教授  
佐賀大学理工学部教授  
熊本大学大学院教授

（敬称略、五十音順）